

# 南極から附中へ

南極観測隊員のつぶやき

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校  
校長通信 第17号 令和2年5月12日



## ○地軸の傾き3（春分と秋分）

・これまでに夏至と冬至を学んできました。

では、春分と秋分は知っていますか？

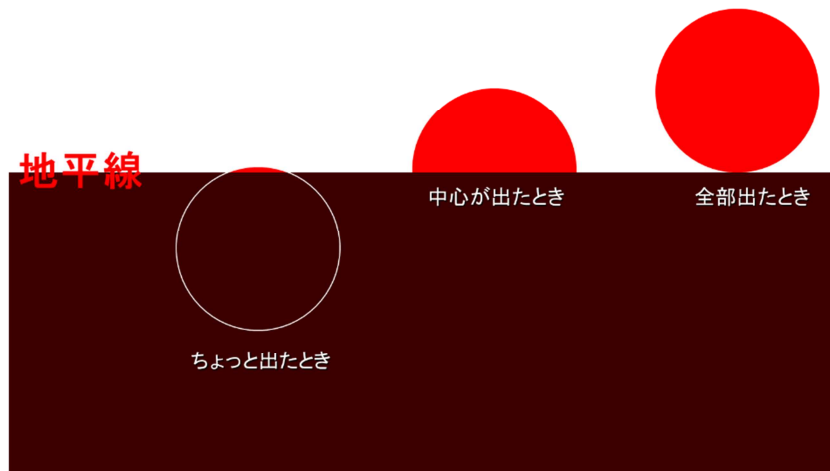
①春分の日・秋分の日、太陽が真東から昇り、真西に沈む。

②春分の日・秋分の日、太陽が出ている時間と沈んでいる時間は半分ずつである。

・①、②とも間違いです。

岡崎市の2019年の春分の日、日の出は5時55分、日の入りは18時4分です。日が出ている時間は12時間9分です。この9分はどうして生じるのでしょうか？

## 日の出はどのタイミング？



・もちろん日の出は、太陽がちょっと出たタイミングです。

一方で、春分・秋分の日、太陽の中心が真東から昇り、真西に沈みます。また太陽の中心が昇り・沈む時間がちょうど半分の12時間になります。よって、陽が出ている時間の方が、太陽の大きさ1個分長くなります。正確には太陽光は大気によって屈折されるので、陽が出ている時間はさらに延びます。

・次の質問は、

問1 南極点で1年間生活をすると日の出、日の入りは何回まで減るでしょうか？

問2 南極点で陽が出ている期間と陽が沈んでいる期間とでは、どちらが長いでしょうか？

答えは次々回へ！

## <豆知識>

春分の前の日は節分です（正確には季節は4つありますので節分も4回あります）。

節分で追い出されるのは鬼です。鬼は虎のパンツと牛の角（ツノ）が特徴です。鬼門の方角は十二支を北から順に並べて丑寅の方角です。この方角の概ね逆の方角に位置する3つの動物は、ある昔話に出てくるお供の3匹です。